

総合的な学習の時間（プログラミング教育）学習指導案

相模原市立淵野辺小学校
指導者 廣畑 雄

- 1 日 時 令和元年11月15日(金)5・6時間目
 2 場 所 第4学年2組教室
 3 学年・学級 第4学年2組 38名
 4 単 元 名 『ひろげよう思いやりの輪』
 5 本時の目標 Aグループ:目の不自由な人のために、近づいたら動く扇風機を考える。
 Bグループ:体が不自由な人のために、近づいたら電気が流れるスイッチを考える。
 6 展 開

	○学習活動と内容 ・児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価
導入 (20分)	<p>○本時の目標を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目が見えない人が、スイッチの困るって言ってたから、スイッチを使わない扇風機を考えよう。 ・体が不自由な人が、スイッチを入れるのが大変とってたから、近づいたら電気が流れるスイッチを考えよう。 <p>○プログラミングのゴールを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A：近づいたら扇風機が動くようにするよ ・B：近づいたらスイッチが入って、電気がつくようにするよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講話を思い出しながら、課題を考えるようにする。 ・アイマスク体験や車椅子体験も生かすようにする。 <p>・目標とする動きについて、グループで確認させる。</p>
展開 (50分)	<p>○実際に作って、プログラムを試みる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A：人がきたら、扇風機が動くようになったよ。 ・B：近づいたら、スイッチが動いて回路になったよ。 <p>○実際に使ってみて、さらによくしたい工を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A：動いたら音が出た方がついてると分かると思うよ。 ・A：人がいなくなったら、消えるようにしたいよ。 ・B：夜になったら自動的に、電気がつくようにしたいよ。 ・B：人がいなくなったら、電気が切れるようにしたいよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で作ってしまうのではなく、グループで役割を分担し、協力して作るように声をかける。 ・目標としていた動きができない時は、プログラムを見直して改善できるように支援する。 ・もっと、よくできないか問うようにする。 ・共有しながらさらによくする工夫のアイデアと妥当性のある理由を発言させるようにする。
まとめ (20分)	<p>○作ったものと動きとプログラムを紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動き出したら音が出るようにプログラムしてみました。こうすることで、動いているのがわかりやすくなると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型TVにプログラムを写しだし、実際に動きとプログラムの流れを確認する。